

部長会議付議事案書（報告）

（令和3年8月3日）

提案課名 情報指令課 消防総務課

報告者名 小室 俊之 大津 良昭

事案名	秦野市・伊勢原市消防指令業務共同運用の進捗状況について	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">有</div> 資料 無
提案趣旨	<p>秦野市と伊勢原市は、消防需要に対する広域的な連携の強化、消防通信指令事務の高度化及び消防行政の効率化を進めるため、消防指令センター、消防総合指令システム、消防救急デジタル無線設備等を共同で整備します。</p> <p>令和7年4月の運用開始を目指し、秦野市・伊勢原市消防通信指令事務協議会で協議を重ねているところですが、このたび、整備方針がまとまりましたので、その概要と現在の進捗状況について報告するものです。</p>	
概要	<p>1 共同消防指令センター 秦野市消防庁舎の車庫棟を解体し、指令センター・車庫棟（2階建て）を建設</p> <p>2 消防総合指令システム・消防救急デジタル無線 資料1、整備方針のとおり</p>	
経過	<p>令和2年 7月 秦野市・伊勢原市消防指令業務共同運用基本構想を策定 8月 両市市長による共同運用に関する合意書を締結 10月 秦野市・伊勢原市消防通信指令事務協議会を設置（令和2年9月議会で協議会規約を議決）</p> <p>令和3年 4月 共同消防指令センター基本・実施設計に着手</p>	
今後の進め方	<p>令和3年度 共同消防指令センター基本・実施設計</p> <p>令和4年度 共同消防指令センター施工 消防総合指令システム及び消防救急デジタル無線設備等の調達支援</p> <p>令和5年度 共同消防指令センター完成 消防総合指令システム及び消防救急デジタル無線設備等整備</p> <p>令和6年度 消防総合指令システム及び消防救急デジタル無線設備等完成</p> <p>令和7年4月 運用開始</p>	

1 事業の予算化（委託業務）

令和4年度から6年度までの調達支援・監理及び令和5年度と6年度の消防総合指令システム・消防救急デジタル無線の整備は委託料に計上する。

消防総合指令システム・消防救急デジタル無線の整備は、機器配置レイアウト図に基づく機器の据付けや調整及びソフトウェアの開発が主な作業内容であるため、工事的要素が少なく国土交通省基準による工事積算・部材数量の積み上げを必須としないことから委託業務とし整備費用の縮減を図る。

調達支援及び監理委託業務	27,000 千円
指令システム・無線整備委託業務	1,145,500 千円
合計	1,172,500 千円

(令和3年度コンサル見積徴収、令和4年度設計積算により変動する。)

秦野市・伊勢原市
共同消防指令センター
(仮称)



3 調達支援及び監理委託業務の必要性（コンサルタントの活用）

消防指令センターシステムパッケージは、操作仕様はもとより多重化方式、使用OS、ネットワーク構成に至るまで各社各様となる。また、共同消防指令センターでは秦野市と伊勢原市の消防システム・無線設備のハード・ソフト面を合理的に一元化整備する必要があることから、総務省消防庁が策定する「消防救急無線及び消防指令システムの発注の在り方に関するガイドライン」により、外部支援事業者の活用を検討することが望ましいとされ、コンサルタントによる調達支援及び監理を委託するもの。

なお、コンサルタントは、調達支援業務において複数のメーカーに対し、システムの更新にあたり必要な情報提供の依頼を実施、新システムの基礎となる要求水準書、概略システム構成検討、概算事業費算出、システム調達仕様書などの設計業務を行い、この調達支援に基づき進捗管理、詳細設計内容確認・精査、工場検査立会などの監理業務を引続き実施することとなる。

2 落札方式の検討（公募型プロポーザル方式）

落札方式は、コンサルタント、消防システム・無線設備メーカーの選定に当たり契約の公正性、透明性及び競争性を担保するとともに、価格競争のみではなく提案書の審査及び評価を総合的に行い、審査基準により最も適した提案を行った事業者を選定するため、「秦野市プロポーザル方式実施ガイドライン」に沿った公募型プロポーザル方式とする。また、令和5年度のプロポーザルでは、指令システム・デジタル無線の導入年度以降の年間保守費用を評価点に含めることにより保守予算を予め確定することができる。

発注事例 秦野市：平成31年度基幹系システム最適化業務、令和3年障害福祉システム選定、令和3年滞納管理システム選定
伊勢原市：平成30年度文書管理システム導入業務、令和2年度人事給与・庶務事務システム導入業務、令和3年度小中学校外国語指導助手派遣業務

4 プロポーザル方式に係る選定委員会（秦野市プロポーザル方式実施ガイドライン）

選定委員7人

秦野市（4人）	伊勢原市（3人）
消防長	消防長
消防署長	消防署長
情報指令課長	警防救急課長
情報システム課長（市長部局）	

公募から契約締結までの期間

設計業務プロポーザル（コンサルタントの選定） 令和4年4月から5月
整備業務プロポーザル（指令・無線メーカーの選定） 令和5年4月から5月

主な事業計画

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指令・無線設計業務 (コンサルタント)				調達支援及び監理委託業務予算要求 (継続費 令和4、5、6年度分)	調達支援及び監理委託業務 (公募型プロポーザル方式でコンサルタントの選定)			運用開始 (4月)
指令・無線整備業務 (メーカー)					指令・無線整備委託業務予算要求 (継続費 令和5、6年度分)	指令システム・無線整備委託業務 (公募型プロポーザル方式でメーカーの選定)		
庁舎設計・建築施工			基本・実施設計 予算要求	基本・実施設計 (建物)	解体・建築工事 (令和4年6月から令和5年9月)			
秦野市・伊勢原市 連携・協力等の動向	・秦野市・伊勢原市消防指令業務の共同運用に係る会議 ・秦野市・伊勢原市消防指令業務共同運用検討委員会	検討委員会から両市長へ検討結果報告書提出	・秦野市・伊勢原市消防通信指令事務に関する合意書締結 ・消防通信指令事務協議会設置	各年度、消防通信指令事務協議会を開催				